

大いなる飛躍へ

 **JA上川中央**

平成28年度 JA上川地区女性協議会 中央部Bブロック研修会



JA上川中央女性部

平成28年度JA上川地区女性協議会
中央部Bブロック研修会
主催: JA上川中央女性部愛別支部

2016
NO.105

発行・上川中央農業協同組合
愛別町本町125
Tel(01658)6-5315
URL <http://www.ja-kamikawa.or.jp/>
編集・営農部営農振興課

12



主催：JA上川中央女性部愛別支部 平成28年度JA上川地区女性協議会 中央部Bブロック研修会

10月25日、愛別町農村環境改善センターにおいて「平成28年度JA上川地区女性協議会中央部Bブロック研修会」が開催されました。

今年は当JA女性部愛別支部が主催となり、近隣5JA女性部と当JA女性部上川支部が出席して総勢130名での研修会となりました。

講演では、絵本の里けんぶち VIVAマルシェ代表 高橋朋一氏に「軽トラマルシェによる町おこし」と題し取組・活動内容についてお話しいただき、同じ農業者として参加された皆さんは真剣に聞き入っていました。

公演後の昼食では、愛別町きのご振興会よ



り提供していただいた特産品のきのこを使い、きのこ汁を作りご賞味いただきました。

昼食の後は、旭川市や近隣の幼稚園・保育園などで数々の公演を行い活躍している愛別町の人形劇団キノッピーによる人形劇「ジャックとマメの木」を公演いただき、楽しいひとときを過ごしました。

研修会の最後に、次回当番である当JA女性部上川支部 辰巳部長より閉会の挨拶を行い、和やかな雰囲気の中で閉会しました。





女性の力を結集しよう！ 第53回 JA北海道女性大会・北海道家の光大会

11月10～11日、ガトーキングダムサッポロにおいて第53回 JA北海道女性大会・北海道家の光大会が道内 JA 女性部員約550名が集まり開催され、当女性部からも4名が参加しました。

研修では、(株)UFPF代表取締役 西原憲一氏が「エンディングノートについて」と題し、自分史を「頭も身体もこころも元気な今(始めたいと思った時)から書いておくべき」とし、「終活」と「しまい支度」の違いについてお話し



していただきました。

つづいて、食料・農業・農村ジャーナリストの大金義昭氏が「今日の自分が一番若い～いのちの花を咲かせましょう！～」と題し、JA事業への女性参画などについて講演していただきました。

大会では、「家の光記事活用体験発表・表彰式」や「家の光持ち寄り読書会」を開催。JA道女性組織強化基本方針(案)の協議では、各地区から様々な質問・意見が出され、活発な大会となりました。



西原憲一氏

大金義昭氏



JA上川中央青年部愛別支部 活動実績発表大会で最優秀賞!! 平成28年度上川地区 JA 青年部大会

11月9日、旭川トーヨーホテルにおいて、平成28年度上川地区 JA 青年部大会が開催され、愛別支部部員10名、上川支部部員4名が参加しました。

「動画で発信! 農の魅力」コンテスト(1分間CMコンクール)は、地域と農業を広くPRする目的として、単組ごとに1分間の動画を作成し発表。上川支部より1点応募し、地域を巻き込んだ農業農村の魅力を存分に伝えてきました。

「純農boy上川オーディション」には農業・JA青年部活動

に対して人一倍熱い情熱を持った鉢呂健人君・古関浩之君、「アームレスリング大会」には力自慢の岡田恭平君・

遠藤雅大君が会場を沸かせてきました。

大会テーマである「輝ける農業へ、盟友(とも)と志し高く!」は、愛別支部とJA東神楽の合作で選ばれ、愛別支部は2年連続の受賞となりました。

また「活動実績発表大会」では、当番5単組の発表の中、愛別支部の「やるなら今しかねえ!」(発表者:水谷雅仁君、パワーポイント操作者・佐々木孝志君)が見事最優秀賞に輝き、12月1日～2日に札幌パークホテルにて開催される、全道JA青年部大会の上川地区代表として出場してきます。





愛別町産きのこのPRを 第13回北海道きのこ品評会および第5回北海道きのこフェスティバル開催

11月8日、札幌中央卸売市場において第13回北海道きのこ品評会が開催されました。この品評会は全道各地で栽培されているきのこの栽培技術の向上と消費者の皆様に道内で栽培されているきのこをもっと知っていただくよう開催されているものです。

続いて、9日には札幌市（チカホ）において第5回北海道きのこフェスティバルが開催され、愛別町産きのこを求めているお客様も多かったですが、さらに多くの人に求めていただけるようPRしてきました。



秋の実りに感謝し、来年の出来秋を祈願 JA上川中央青年部上川支部・フレッシュミズ合同収穫感謝祭



11月16日、JA上川中央上川支所2階大会議室においてJA青年部上川支部・フレッシュミズ合同収穫感謝祭が開催されました。

この行事は、毎年秋の稔りに感謝し、次年度の出来秋を祈願する行事で、青年部・フレッシュミズ部員の他、各関連機関からもご出席いただき盛大に行われました。

終始和やかな雰囲気の中で、交流を深めながら来年の出来秋を祈願しました。



予選を勝ち進んで決勝大会へ 第6回「米ー1グランプリinらんこし」決勝大会

11月19日、蘭越町山村開発センターにおいて第6回「米ー1グランプリinらんこし」の決勝大会が開催されました。決勝大会では予選審査を勝ち進んだ岩城一憲さん（愛別町金富）が出演、審査方法は16名による厳正なる官能（食べ比べ）審査により産地混合のトーナメント方式で「日本一美味しいグランプリ米」を競い合いました。

惜しくもグランプリ獲得とはなりませんでした。愛別町産の「美味しいお米」をアピールすることができました。



するーらいふ 「知覧の町を訪ねて」

11月の最終週の頃には完全な根雪になってしまった。1ヶ月早い冬が誰も呼んでもいないのに尋ねて来た。今年の気象は異常続きたった。安定しない温度で春が始まり、異常高温の日々が続き曇り掛けるような台風水害が襲って来た。甚大な被害の爪跡を各地に残したが、今総てを早雪が覆い隠してしまった。

アメリカに眼をやると大統領選挙では、世論の予想を覆す結果が待っていた。トランプ、彼はブロンドの髪を振り乱し往年のプロレスラーのように悪態を衝いた。それでも彼に、昔の強い星条旗を国民はイメージした。年明けに彼が立つ場所はリングではない。ホワイトハウスのデスクで国政を指揮するのである。今は荒れ狂う海の一時の凧のような静けさが漂う。仲間と秋の鹿兒島を訪ねた。



よい巡り合わせで初めての知覧町を歩いた。

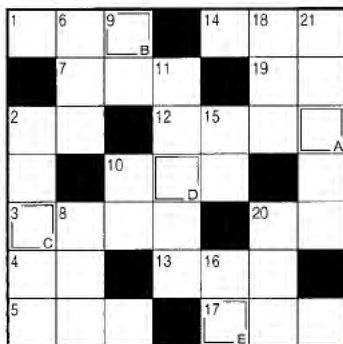
江戸時代の武家屋敷群を訪れる観光客も多い。昭和20年本土最南端の陸軍特攻基地となり、20歳前後の若い隊員達が満州・日本各地から終結して出撃したこの地を踏むことが、平和で緩んだ自分に必要と思っていた。人類史上、類のない爆装した戦闘機もろとも敵艦に体当たりした陸軍特別攻撃隊員。

薩摩半島先端の開聞岳を望む凜凜しい特攻隊員の像、やや離れたところで見送る母の像、数々の灯籠の道を抜けて知覧特攻平和会館へ入る。国を思い父母を思い永遠の平和を願って散った、若者の群像がそこにはあった。

今は希薄になった諸々の感情が、彼等の流れるような最後の筆の手紙に鮮烈に刻まれていた。20歳前後の若者の決死さを感じさせる重い長い時間が、会館の空間を占めていた。

紅葉の薩摩路を走りながら、背中を押される力を感じた。必死で生きているか、必死で守っているか、英霊の言葉として胸に響いた。

パズル? 頭の体操



タテのカギ

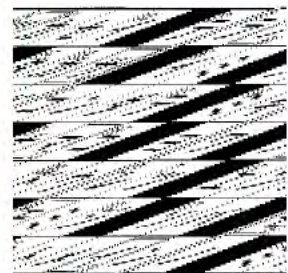
- 2 丸太を積み上げてつくる家
- 6 初心運転者が車に付けるマークはこの形
- 8 鳥羽伏見の戦いに砲を発する——戦争
- 9 ちらしや握りがあります
- 10 壁や棚に結まる植物
- 11 西洋ナシの代表的な品種
- 15 カニやイカの呼吸器
- 16 シジミやアサリ、カキなど
- 18 成車の肉のこと
- 20 箭の反射鏡
- 21 12月24日の夜は——イブ

ヨコのカギ

- 1 11月は霜月、12月は——
- 2 『プレーメンの音楽隊』の中で一番大きな動物
- 3 正月向けの寄せ植えによく使われる植物。キャベツの改良品種です
- 4 肉、乳、角、骨などを利用する家畜
- 5 徳川家康が晩年を過ごした——城。城跡は静岡市にあります
- 7 10歳を——に4人の子がいます
- 10 真冬に豪雪地帯の軒からぶら下がり——ます
- 12 樽を笑話で言うところ
- 13 千円札などに入られています
- 14 耳の中で音を受け取る器官
- 17 灰をならしたり、上に自在かきをつけるしたり
- 19 平成29年の元とは
- 20 きなの根幹です

先月号の
答え

パズル? 頭の体操



解答

A B C D E
サ ツ マイ モ

JAグループ通信:大会実践フォーラム特集



毎月、JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介しておりますが、今回は、1月2日に開催したJA北海道大会実践フォーラムで発信した「JAグループからのメッセージ」をお伝えします。

「JA北海道大会実践フォーラム」では、昨年の第28回JA北海道大会の決議事項に対する実践機運を高めること等を目的に「農業所得20%増大」と「550万人サポーターづくり」をテーマとするパネルディスカッションと、JAグループからのメッセージとして決議事項の実践状況を発信しました。

以降、メッセージの内容を掲載します。

JA北海道中央会

私たちは大会決議事項である「所得20%増」「担い手倍増」「サポーター550万人づくり」「JAグループの人づくり」等、息の長い取り組みを続けて行かなければなりません。今後も、協同の理念のもとで着実に実践を積み重ね、農業・JAの意義をグループ内外に積極的に発信し続けながら、北海道農業の価値を高めて行くことで道民や国民に信頼され愛されるJAグループになることを目指して参ります。



JA北海道信連

新規担い手倍増、農業所得増大の取組として、各連合会が連携しての「後継者親元就農」「ICT導入」等へ助成支援する「担い手確保・育成支援事業」の実施や後継者等向けに借換による償還負担軽減を図る資金を創設しました。

また、550万人サポーターづくりとしてコンサドルレ通帳の発行、親子料理教室、「ドドーン貯きキャンペーン」の実施等、JAファンづくりに取り組みました。

今後も、選ばれるJAバンクを目指して取り組みでまいります。



ホクレン

『販売・購買・営農支援を三位一体とする事業運営』を基本戦略とし、「価値向上」「生産性向上」「コスト低減」の実践を通じて「農業所得の向上」を目指すとともに、経営の合理化による配当の向上、主要品目全般における手数料の引き下げ、各種奨励施策の実施など、生産者・会員JAへの最大限の還元を努め「皆様に選ばれるホクレン」を目指します。



JA共済連北海道

「相互扶助」を事業活動の原点に「ひと・いえ・くるまの総合保障」により、組合員・利用者が健康で安心して暮らせる地域社会づくりに貢献しています。

今後も引き続き農業経営に貢献する取り組みと、JA支援の強化を重点事項として、地域密着の社会貢献活動を展開しながら組合員・利用者との結びつきを深めてサポーター550万人づくりに取り組みます。



JA北海道厚生連

厚生連は、設立以来「農民の健康保持と生活文化の向上」を目指し、安心して暮らせる地域社会と農村の環境づくりに寄与してまいりました。

今後についても、地域のつながりを守る生活基盤としての機能発揮と、道民と食と農でつながるサポーター550万人づくりへの貢献を「医療・健康管理・高齢者福祉・配置薬」の視点から推進し、取り組んでまいります。

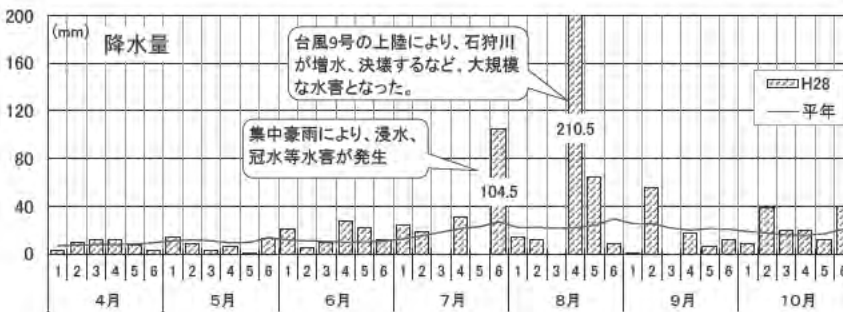
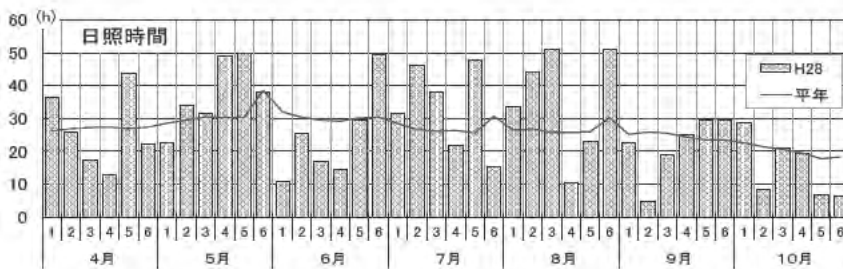
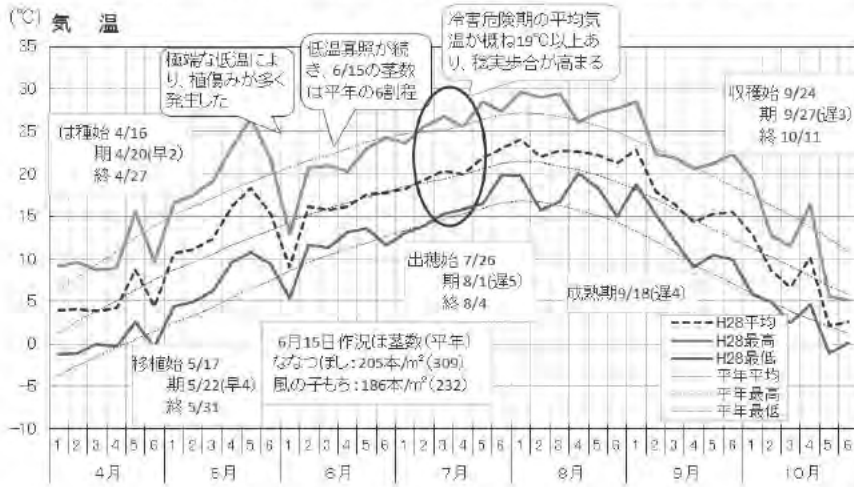


平成 28 年産の米作りをふりかえって

上川農業改良普及センター

1 平成28年の気象経過(比布アメダス)と水稻生育(上川農業改良普及センター作況ほ)

生育概要: 普及センター作況ほ 成苗ななつぼし、成苗風の子もち、作業期・生育期節: 愛別町



本年は5月5、6半旬の高湿により、移植後半の苗ほど、徒長傾向となり、さらに、6月初旬の極端な低温により、徒長苗ほど植え傷みが発生しました。

その後も低温が続き、6月15日の㎡茎数は「ななつぼし」は平年の66%、「風の子もち」は平年の80%でした。

7月に入り天候が回復、前歴期間～冷害危険期は気温が高く、稔実歩合は高まりました。茎数も回復し、7月15日には平年並みの茎数となりました。

7月31日、8月23日には集中豪雨による浸水・冠水等の水害が発生し、大きな被害を受けました。

2 収量・品質

(H28年11月22日現在 JA上川中央本所)

本年の収量構成要素・決定要素は「ななつぼし」は平年並みとなりましたが「風の子もち」は穂数がやや少なく、精玄米重は少ない結果となりました(表1)。

低タンパク米出荷率は「ゆめぴりか」S区分(6.8%以下)28%、第1区分(6.9～7.4%)36%。「ななつぼし」6.8%以下は6%と例年よりも少ない結果でした。

もち品種は、収穫前半は青未熟粒が多く、後半はサビ等が多くなり、高整粒は20%と平年より少ない結果となりました。

3 次年度にむけて

アメダスの平年値から愛別の出穂晩限は8月5日、上川の出穂晩限は7月31日です。出穂晩限までには出穂揃となるよう、5月末までの移植、過剰な粉数としなない施肥窒素量を心がけましょう。

表1 上川農業改良普及センター作況ほ収量構成要素・決定要素(ななつぼし7カ所平均、風の子もち2カ所平均)

	ななつぼし		風の子もち	
	H28	平年	H28	平年
㎡穂数(本)	601	598	496	526
一穂粒数(粒)	61.6	58.7	69.3	69.5
㎡総粒数(百粒)	370	350	344	369
稔実歩合(%)	93.9	94.4	94.4	94.7
千粒重(g)	22.5	22.7	22.0	22.5
精玄米重(kg/10a)	657	667	566	662
屑米(kg/10a)	49	32	43	23

JAのあゆみ 11月

組合員のうごき

(平成28年10月24日現在)
 正組合員戸数 367戸
 総組合員数 2,549名
 正組合員数 573名
 うち団体数 34団体
 准組合員数 1,976名
 うち団体数 69団体

- 4日 定例企画会議
- 8日 愛別町農業再生協議会推進会議
第13回北海道きのこと品評会
内部審査協議会全監査 営農部
(11日)
- 9日 上川地区JA青年部大会(旭川市)
(11日)
- 10日 上川町畑作園芸振興会役員会
第53回JA北海道女性大会・家の光
大会(札幌市) (11日)
- 11日 農家経済対策委員会
愛別町野菜振興協議会役員会
JA青年部上川支部・フレッシュミ
ズ部会 収穫感謝祭
- 16日 臨時企画会議
大上川神社新嘗祭
- 21日 JA青年部上川支部視察研修
(札幌市) (24日)
- 23日 第10回定例理事会
営農経済専門委員会
コンプライアンス研修会
- 24日 農協懇談会(愛別地区耕種)
(JA青年部)
(JA女性部)
(愛別地区きのこと畜産)
- 28日
- 29日
- 30日

第9回定例理事会

平成28年10月24日開催

- 報告事項
- 1 組合員の脱退について
4名の脱退について報告した。
 - 2 平成28年度JA共済コンプライアンス点検結果について
点検結果について内容を報告した。
- 議事
- 1 組合員の相続並びに譲渡について
1名の相続の譲渡が承認された。
 - 2 組合員の加入報告並びに組合員資格について
1名の加入及び1名の資格変更が承認された。
 - 3 組合員の出資減口について
1名の減口が承認された。
 - 4 行政に対する要望・意見書について
農業政策及びまちづくり要望書について承認された。
 - 5 平成28年度産馬鈴薯に係る概算仮払金について
平成28年生産数量に対する概算仮払金について承認された。
 - 6 規程の一部改正について
就業規則改正2件が承認された。
 - 7 長期資金の融資について
2件の融資について承認された。
 - 8 理事に対する長期資金の融資について
1件の融資について承認された。

お世話になりました

金融部金融共済課(上川支所)
 吉永 哲也
 (11月14日付)

平成28年度 年末年始

	総営	務農部	資材店舗	金融部		給油所	
				窓口	ATM	愛別	上川
12月23日(金) [天皇誕生日]						8:00~ 17:00迄	8:00~ 18:00迄
12月24日(土)	8:30~ 12:30迄 (総務部当番)				9:00~ 12:30迄	8:00~ 18:30迄	8:00~ 18:30迄
12月25日(日)						8:00~ 17:00迄	8:00~ 18:00迄
12月30日(金)			8:30~ 12:00迄			8:00~ 17:00迄	
12月31日(土) [大晦日]						8:00~ 12:00迄	
1月1日(日) [元旦]							
1月2日(月)						9:00~ 16:00迄	
1月3日(火)						9:00~ 16:00迄	
1月4日(水)	通常業務						

※1月10日(火)は新年交礼会開催のため、全業務午後4:00にて閉店させていただきます。